



2026年3月期

# 決算補足資料

2026年5月15日

株式会社 GSIクレオス

## Point

売上高および利益のすべての項目で前期を上回る。売上高および当期純利益は過去最高額を更新。

- ・繊維事業：前期比で増収増益。インナー用機能糸・生地が取引が伸長し、米国向け生地の輸出が堅調。トリアセテート繊維事業も業績に寄与。
- ・工業製品事業：前期比で減収減益。塗料原料や複合材関連装置の大型案件が貢献するも、半導体関連の一部取引の商流変更などが影響。

(百万円)

経営成績	2025年3月期	2026年3月期	前期比 (金額)	前期比 (%)
売上高	165,541	188,677	23,136	14.0
売上総利益	16,858	18,672	1,814	10.8
販売費および一般管理費	13,907	15,067	1,159	8.3
営業利益	2,950	3,605	654	22.2
営業利益率(%)	1.8%	1.9%	0.1pt	—
経常利益	2,548	3,924	1,375	54.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,358	2,544	185	7.9

# 事業別 業績サマリー

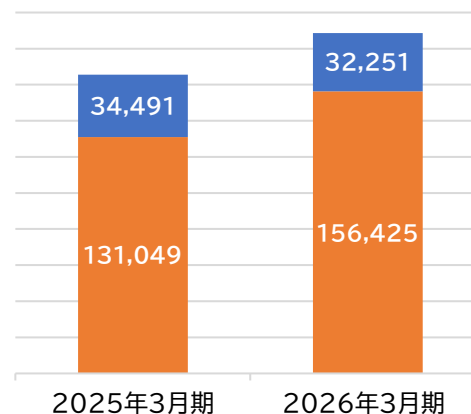
## 売上高

(百万円)

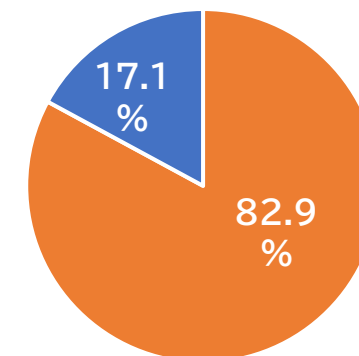
セグメント	2025年3月期	2026年3月期	前期比 (金額)
繊維事業	131,049	156,425	25,375
工業製品事業	34,491	32,251	△2,239
合計	165,541	188,677	23,136

## 売上高 比較

(百万円)



## 26年3月期 売上高構成比



■ 繊維事業 ■ 工業製品事業

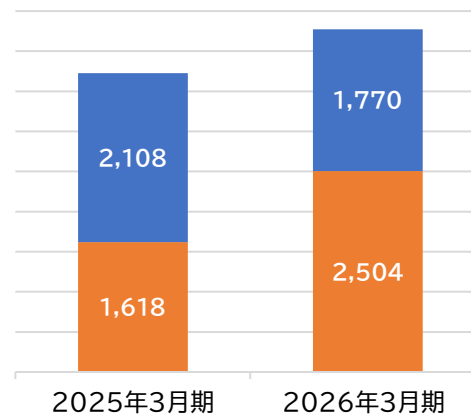
## 営業利益

(百万円)

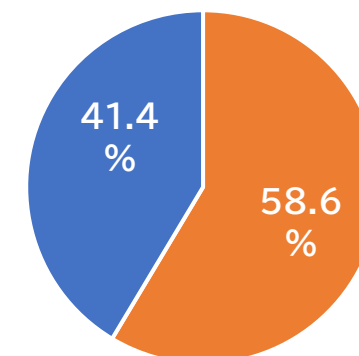
セグメント	2025年3月期	2026年3月期	前期比 (金額)
繊維事業	1,618	2,504	886
工業製品事業	2,108	1,770	△337
調整額	△777	△670	106
合計	2,950	3,605	654

## 営業利益 比較

(百万円)



## 26年3月期 営業利益構成比



■ 繊維事業 ■ 工業製品事業

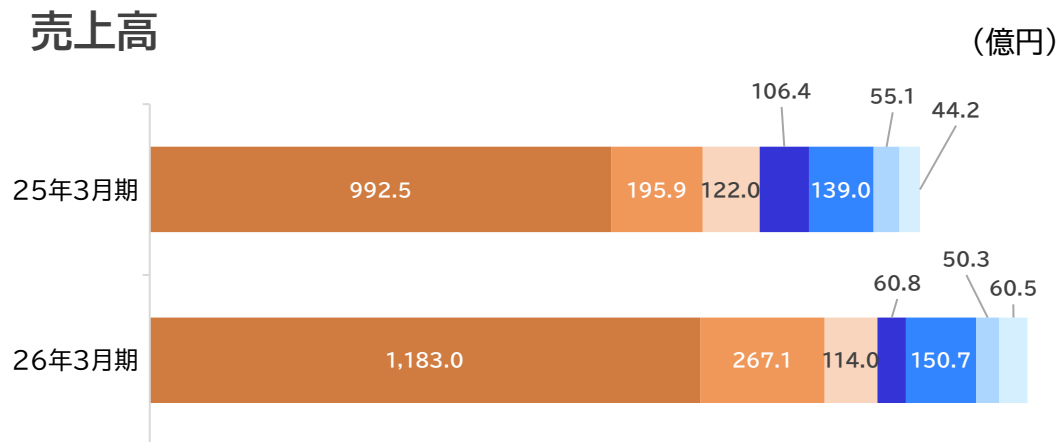
■ 繊維事業 ■ 工業製品事業

# セグメント別業績（前期比）

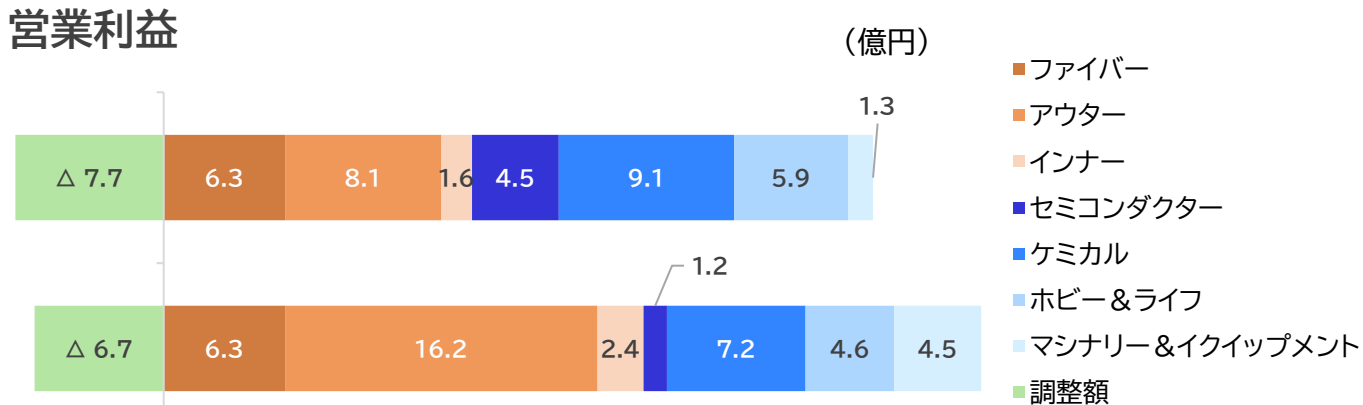
(百万円)

セグメント	売上高			営業利益			
	2025年3月期	2026年3月期	前期比	2025年3月期	2026年3月期	前期比	
繊維	ファイバー	99,258	118,301	19,043	631	637	6
	アウター	19,590	26,716	7,125	817	1,625	807
	インナー	12,201	11,407	△793	169	241	72
工業製品	半導体	10,640	6,085	△4,555	457	120	△336
	ケミカル	13,909	15,073	1,163	918	727	△190
	ホビー&ライフ	5,519	5,036	△483	597	462	△134
	マシナリー&イクイップメント	4,420	6,056	1,635	135	459	324
調整額	—	—	—	△777	△670	106	
合計	165,541	188,677	23,136	2,950	3,605	654	

## 売上高

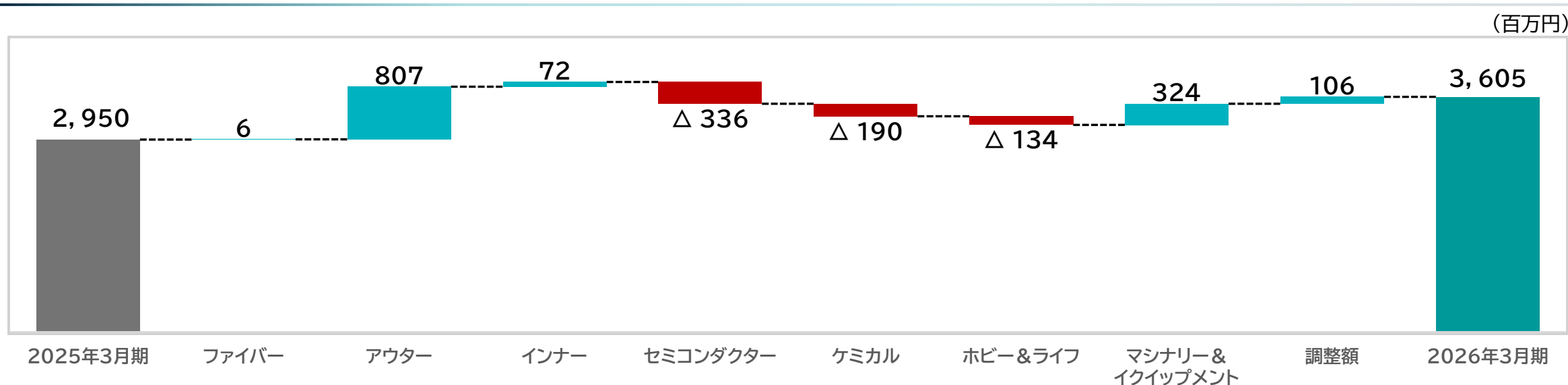


## 営業利益



- ファイバー
- アウター
- インナー
- 半導体
- ケミカル
- ホビー&ライフ
- マシナリー&イクイップメント
- 調整額

# セグメント別業績（前期比）営業利益 推移



## 繊維事業

ファイバー	第1四半期に特定の取引先に対する貸倒引当金繰入額の計上があったものの、インナー用機能系・生地取引の好調な推移に加え、冬期の寒暖差の影響により需要が拡大。
アウター	米国向けの生地輸出販売、製品のOEM取引が引き続き堅調。不採算事業からの撤退による収益改善とともに、前期に買収したトリアセテート繊維事業が寄与。
インナー	ランジェリーなど一部製品分野で取引が減少したものの、高機能素材や自然由来素材の機能性インナーの取引が伸長。加えて、原料価格高騰への対応も奏功。

## 工業製品事業

セミコンダクター	中国製ウェハの取引は、引き続き堅調に推移したものの、米国による対半導体輸出規制の継続や一部商材における商流変更の影響を受ける。
ケミカル	塗料原料の輸入取引が伸長し、輸出取引も堅調に推移したものの、在庫の一部で評価減を計上。
ホビー&ライフ	化粧品原料の取引は、欧米向け輸出販売が好調に推移し、主要基材の価格改定により利益率が改善。ホビー関連の取引は、欧州向け輸出販売が堅調に推移したものの、主力の国内取引が減少。
マシナリー&イクイップメント	理化学関連装置の取引は低調に推移したものの、複合材関連装置の大型案件や産業機械の販売が大きく寄与。

## 連結貸借対照表

## Point

【総資産】 売上債権の増加などにより増加。

【負債】 仕入債務の増加などにより増加。

【純資産】 親会社株主に帰属する当期純利益による株主資本の増加などにより増加。

(百万円)

財政状態	前期末 (2025年3月末)	当期末 (2026年3月末)	前期末比
総資産	79,965	89,305	9,339
負債 (ネット有利子負債)	49,879 5,486	57,095 4,249	7,215 △1,236
純資産	30,086	32,210	2,124
自己資本	30,086	32,210	2,124
自己資本比率	37.6	36.1	△1.5pt

## キャッシュ・フロー

## Point

【営業活動によるCF】仕入債務の増加などにより4,843百万円の収入。

【投資活動によるCF】連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出などにより△1,927百万円の支出。

【財務活動によるCF】短期借入金の純増減額などにより△3,221百万円の支出。

(百万円)

キャッシュ・フロー	2025年3月期	2026年3月期	前期比
営業活動によるCF	2,713	4,843	2,129
投資活動によるCF	△955	△1,927	△972
(フリー・キャッシュ・フロー)	1,758	2,916	1,157
財務活動によるCF	△4,222	△3,221	1,001
換算差額	112	134	21
現金・現金同等物の増減額	△2,351	△170	2,181

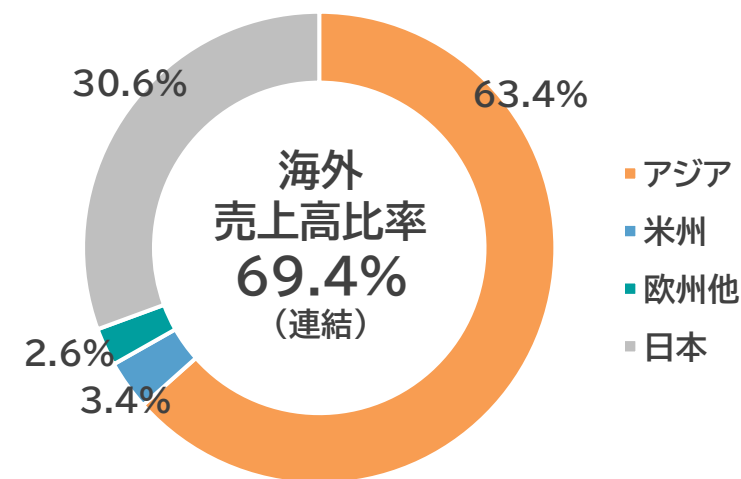
## Point

米州は、半導体事業の一部商流変更の影響を受けたものの、アジアのインナー用機能糸・生地取引が伸長し、海外売上高は前期を大きく上回る。

(百万円)

項目	2025年3月期		2026年3月期		前期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
アジア	99,453	60.1	119,614	63.4	20,161	3.3
米州	12,033	7.3	6,348	3.4	△5,685	△3.9
欧州他	4,876	2.9	4,993	2.6	116	△0.3
海外売上高	116,363	70.3	130,956	69.4	14,592	△0.9

2026年3月期 地域別売上高構成比



アジア:主に中国、香港

米州:主にアメリカ、ブラジル

## 業績サマリー(公表業績予想比)

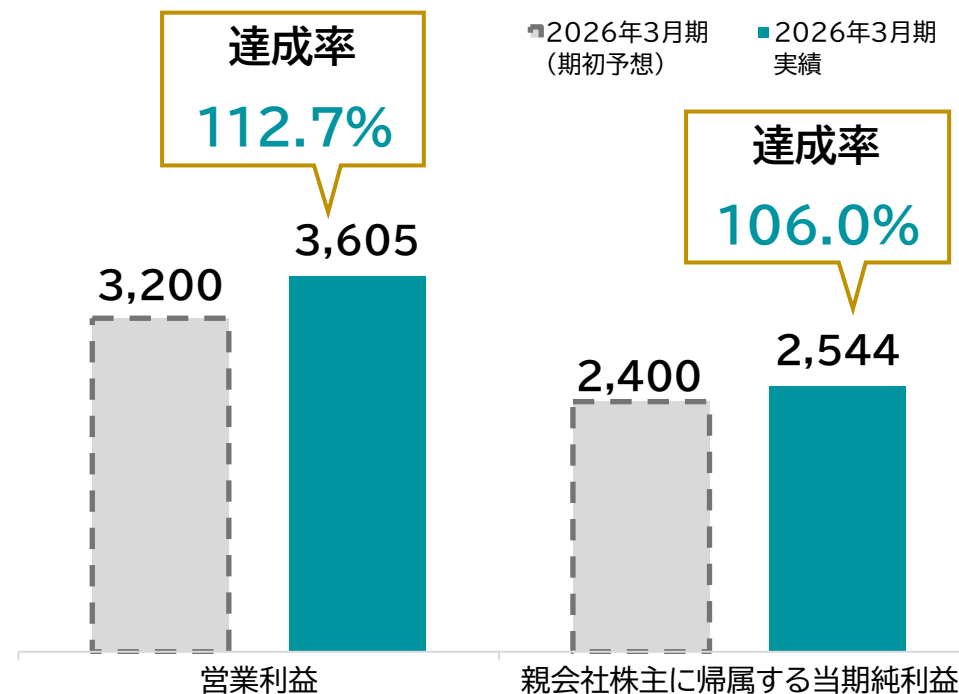
## Point

不採算事業からの撤退やトリアセテート繊維事業の稼働の進展に加え、インナー用機能糸・生地取引が寒暖差の影響などにより最終製品の需要拡大を背景にさらに伸長したことから、直近公表予想の全項目を上回る。

(百万円)

経営成績	2026年3月期 期初予想 (2025/5/15公表)	2026年3月期 直近公表予想 (2026/2/9公表)	2026年3月期 実績
売上高	166,000	172,000	188,677
営業利益	<u>3,200</u>	<u>3,300</u>	<u>3,605</u>
経常利益	3,200	3,400	3,924
親会社株主に 帰属する当期純利益	<u>2,400</u>	<u>2,500</u>	<u>2,544</u>

営業利益および当期純利益の公表業績予想比較 (百万円)



## Point

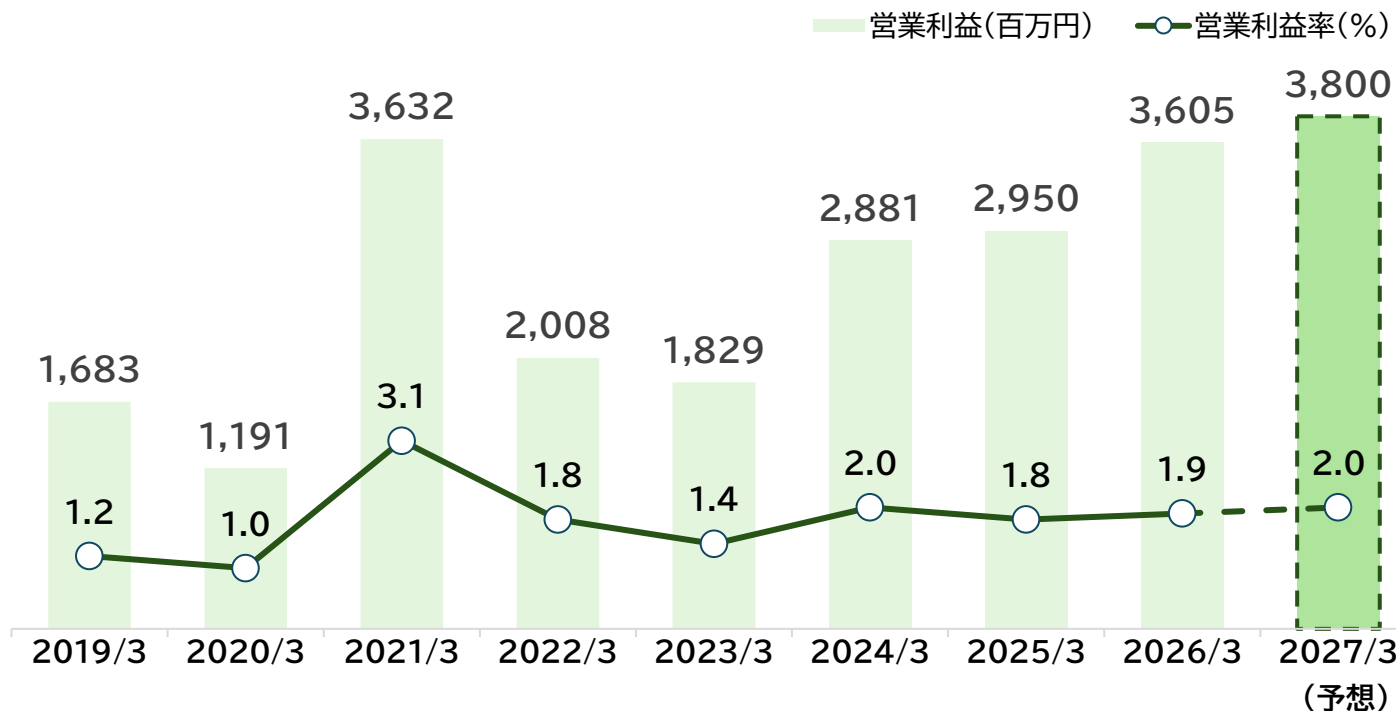
### 過去最高純利益の更新に向けた取り組みを推進

- ・中東情勢やそれに伴う原油・エネルギー価格の変動や供給不足の懸念など、事業環境は厳しさを増すと想定。
- ・経済環境に左右されない強固な経営基盤の構築を進めるとともに、トリアセテート繊維事業やケミカル事業へ注力する。

(百万円)

経営成績	2026年 3月期実績	2027年 3月期予想
売上高	188,677	186,000
<b>営業利益</b>	<b><u>3,605</u></b>	<b><u>3,800</u></b>
経常利益	3,924	3,800
親会社株主に 帰属する当期 純利益	<b><u>2,544</u></b>	<b><u>2,600</u></b>

### 営業利益および営業利益率の推移



# 次期配当予想

## Point

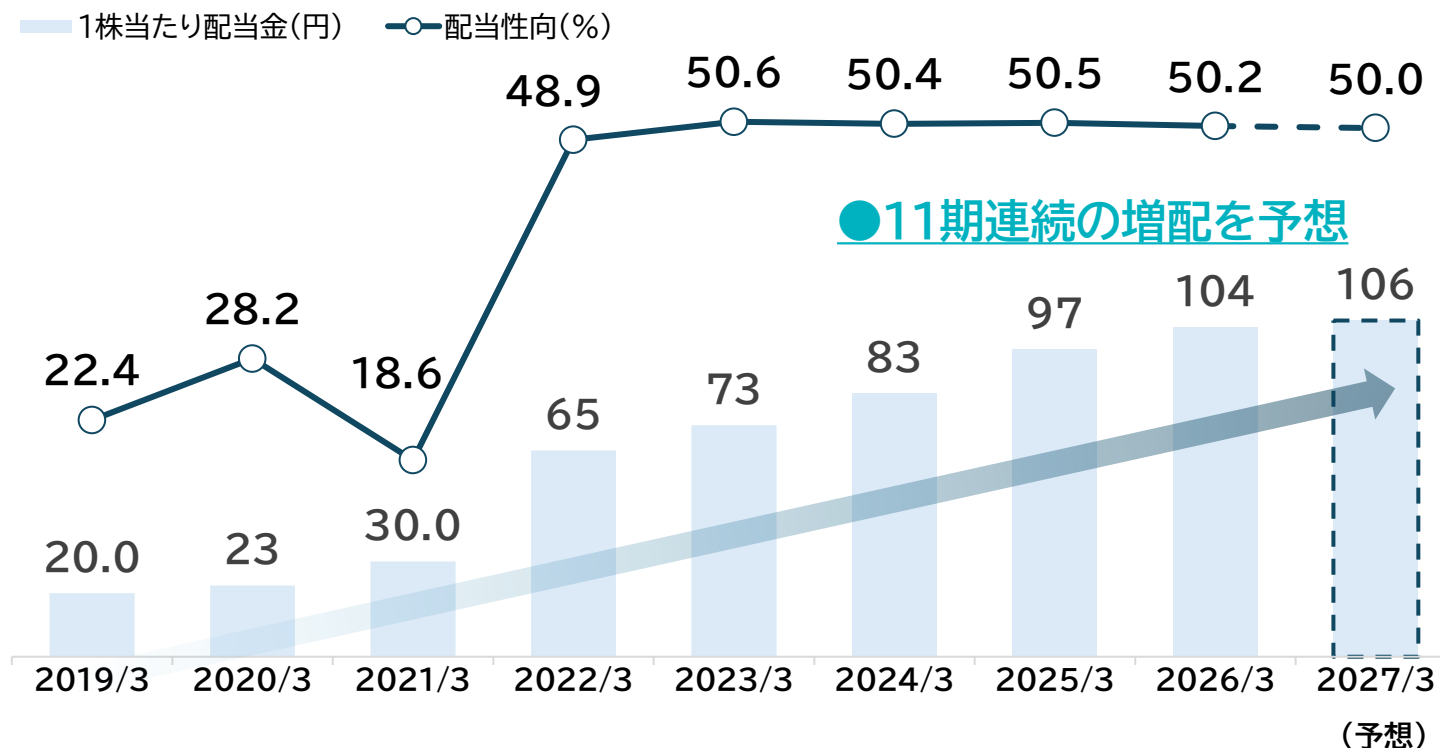
年間(期末)配当金： 前期比で2.0円増配となる**106.0円**。**11期連続の増配**を予想。

項目	2027年3月期 予想
1株当たり配当金	106.0円
配当性向	50.0%

## “GSI CONNECT Phase2” 株主還元方針

- 配当性向 50%以上を維持
- 累進配当 1株当たり下限100円
- 機動的な自己株式の取得

## 1株当たり配当金および配当性向の推移



※2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
1株当たり配当金につきましては、2019/3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

# 中期経営計画 “GSI CONNECT Phase2” 進捗状況

(百万円)

経営成績	中計1年目 (2026年3月期) 実績	中計2年目 (2027年3月期) 業績予想	中計最終年度 (2028年3月期) 当初計画
売上高	188,677	186,000	177,000
営業利益	3,605	3,800	4,000
経常利益	3,924	3,800	4,000
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,544	2,600	3,000
配当性向	50.2%	50.0%	50.0%以上 *1株当たり100円を下限とする累進配当

## パーパス

次代の生活品質を高める  
事業の創造者として  
人びとの幸せを実現する

# GSI Creos

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

また、本資料は信頼できると思われる情報にもとづいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。